

## 輸入植物検疫で発見されたヒラタキクイムシ科

上 田 功

神戸植物防疫所広島支所境港出張所

Powder-post Beetles Intercepted on Incoming Plant Material. Isao UEDA (Kobe Plant Protection Station, 1-1, Hatoba-cho, Chuo-ku, Kobe 650, Japan). *Res. Bull. Pl. Prot. Japan* 26: 105-111 (1990)

**Key word:** Lyctidae

### はじめに

我が国の輸入植物検疫で記録されているヒラタキクイムシ科(Lyctidae)はヒラタキクイムシ(*Lyctus brunneus*), ケヤキヒラタキクイムシ(*L. sinensis*), ケブトヒラタキクイムシ(*Minthea rugicollis*), アラゲヒラタキクイムシ(*Lyctoxylon dentatum*)の4種である。

本科のものは竹類, 漢薬原料の根類, 木材など原産地で十分乾燥されたものから発見されるが, 大量に輸入される木材では水分含量が多いため生活できず, それらから発見されることはまれである。

筆者は, 神戸港において2年間調査したところ, 新たに *Lyctus* 属2種および *Trogoxylon* 属3種が認められたので, 前述の4種を含む全9種についてその形態的特徴を記し参考に供したい。

なお, 調査で得た標本の大部分の同定並びに貴重な資料の提供をいただいた日本大学農獣医学部岩田隆太郎博士, さらに標本収集に御協力を戴いた採集者各位に対し厚く御礼申し上げる。

### ヒラタキクイムシ科の形態的特徴

体は一般に細長くやや扁平で体長は1~8mm(通常2~5mm)。体色は赤褐色~暗褐色。体表面は点刻および繊毛状又は鱗毛状の毛若しくはその両方をそなえる。頭部は背面から明瞭に認められ, 頭楯および前頭は弱く隆起し, それらは縫合線により明瞭に区別される。複眼は側面に突出し丸く大きい。触角は複眼前方から生じ, 11節からなり, その先端2節は球桿部を形成する。大脛は先端で鋭く尖り内面には1歯を, 外面には剛毛の房をそなえる。上唇は有二葉状で前方両側に黄金色の毛を密生する。下唇鬚は3節, 小脛鬚は

4節からなる。

前胸背板はほぼ四角形で, 背面は通常膨隆するかあるいは中央がくぼみ, 点刻および毛をそなえる。前角は強く丸まるものあるいは突出するものなど変化するが後角は鋭く角ばる。

翅鞘側部はほぼ平行か中央側部でやや広がる。背面は弱く膨隆し点刻および毛をそなえ, 末端は丸まる。

前・中基節窩は丸く, 後基節窩は紡錘形。腿節は膨張し先端内側に大きな端刺を, また, 外側にも時折小さな端刺をそなえる。脛節は細く先端はやや太くなる。跗節は5節からなり, 第1節は短いため認め難く, 第5節は他の節を合わせた長さより長い。

腹部は5節からなり, 第1節は第2・3節を合わせた長さとはほぼ同じ。

本科は *Lyctini* と *Trogoxylini* の2族からなる。

### Tribe LYCTINI ヒラタキクイムシ族

本族は翅鞘背面に点刻列を形成し, 剛毛を規則正しく縦列すること, 腿節は細長く中央付近でわずかに太くなること, 等により *Trogoxylini* 族と区別できる。

なお, 本族は *Lyctus*, *Acantholyctus*, *Lyctodon*, *Lycthoplites*, *Minthea*, *Lyctoxylon* の6属からなるが, 大部分の種は *Lyctus* 属に含まれるものである。

### Genus *Lyctus* FABRICIUS ヒラタキクイムシ属

本属は触角球桿部の先端節がほぼ三角形を呈すること, 背面の毛は一般的に伏すか, あるいは湾曲すること, 等で他の属と区別できる。

#### 1. *Lyctus brunneus* (STEPHENS) ヒラタキクイムシ (Fig. 1)

体色は一般に赤褐色から黒褐色。頭部, 前胸, 翅端

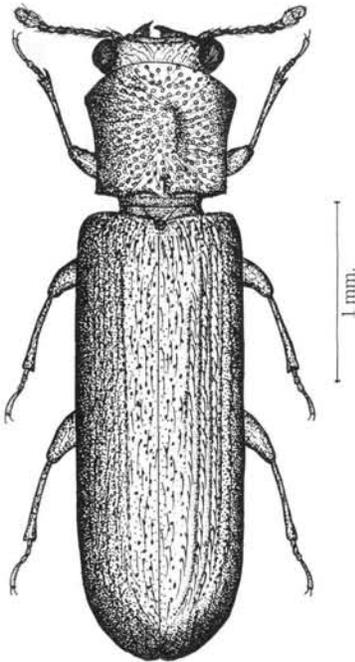


Fig. 1. *Lyctus brunneus* (STEPHENS)

および脚は黒褐色。触角先端節は淡褐色，体表面の毛は黄白色。

前頭は膨らみ，前角および頭楯側部でかなり強い瘤状突起となる。頭楯と前頭との縫合線はくぼむ。点刻はやや疎。剛毛は弱く湾曲し前頭中央に向かう。触角球桿部の先端節はほぼ三角形。

前胸背板の長さは幅とほぼ同じ。側部は細かい鋸歯状を呈し，前方に向け徐々に幅広となり中央付近からさらに強く広がる。前角は強く丸まるが後角では鋭く角ばる。背面は中央でごく浅くくぼみ，後方中央には短く細い縦溝をそなえる。点刻は明瞭でやや疎。剛毛は中央やや前方に向かう。

翅鞘の長さは幅の約2.5倍。基部は肩部を除いて縁どられる。側部は基部から後方4分の3付近まではほぼ平行でその後は弱く丸まる。背面の点刻は細かく密に並んで点刻列を形成するが基部および会合線付近ではやや不規則となる。間室は後方に向け伏した剛毛を1列に縦列する。

前腿節は中・後腿節より幅が広い。

体長：2.2～7.0 mm。

分布：世界各地。

採集記録：Vietnam (Haiphong)→Kobe, ex Bamboo split, VI-18-1982, H. KAWASE.

本種は世界各地に最も普通に分布しており，我が国

においても普通に認められる。

輸入植物検疫では中国，朝鮮，台湾産の薬用植物，東南アジア産のラワン材，アメリカ合衆国産のクルミ材などから発見されている。本種は次の *L. africanus* (アフリカヒラタキクイムシ) と非常によく似ているが識別点は次種の項を参照のこと。

## 2. *Lyctus africanus* LESNE アフリカヒラタキクイムシ (Fig. 2)

体色は一般に赤褐色から黒褐色。頭部，前胸，翅端および脚は黒褐色。触角先端節はやや淡褐色。体表面の毛は黄白色。

前頭は弱く膨らむ。頭楯と前頭との縫合線はやや弱くくぼむ。点刻はやや密。剛毛は弱く湾曲し前頭中央に向け伏す。触角球桿部の先端節はほぼ三角形。

前胸背板の長さは幅とほぼ同じ。側部は細かい鋸歯状を呈し，前方に向かい幅広となる。前角は強く丸まるが後角では鋭く角ばる。背面は中央でごく浅く幅広くくぼみ，後方中央には短い縦溝をそなえる。点刻は明瞭でやや密。剛毛は中央やや前方に向け伏す。

翅鞘の長さは幅の約2.25倍。基部は肩部を除いて縁どられる。側部は基部から後方4分の3付近まではほぼ平行でその後は強く丸まる。背面の点刻は細かく，密に並んで点刻列を形成するが基部および会合線付近ではやや不規則となる。間室には後方に向け伏した剛毛

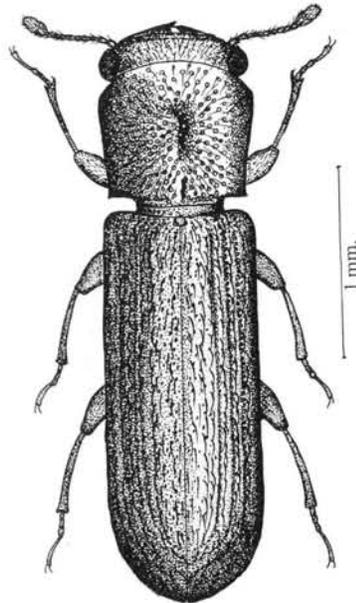


Fig. 2. *Lyctus africanus* LESNE

を1列に縦列する。

前腿節は中・後腿節より幅が広い。

雌は腹部第4節の後縁に短い黄金色の毛房を有する。

体長：2.5~4.0 mm。

分布：アフリカ，東南アジア等の熱帯~亜熱帯地域に広く分布する。

採集記録：P.R. China (via Hong Kong)→Kobe, ex 地黄 (*Rehmannia glutinosa*) II-20-1981, Y. ZYOKO.

India (Bombay)→Kobe, ex Bamboo split, VII-6-1981, M. DOZONO.

India (Bombay)→Kobe, ex Bamboo split, VII-15-1981, I. UEDA.

輸入植物検疫では初記録である。

本種はヒラタキクイムシとよく似ているが、①体は一般的に小型であること、②前頭前角および頭楯側部は瘤状突起を有することはなく、この間がほとんどくぼまないこと、③前胸背板の側縁は基部から前方に向けて徐々に幅広となり、途中で急に広がることはないこと、④翅鞘の長さは幅の2.25倍程度であること、⑤雌の第4腹板後縁に黄金色の毛房を有すること、により区別できる。なお、野淵(1979)は本種が我が国へ侵入定着する可能性を示唆し、岩田(1982)は大阪府高槻市にて食品用の竹ヒゴ製籠から本種を採集している。

### 3. *Lyctus caribeus* LESNE (Fig. 3)

体色は一般に赤褐色。頭部，前胸および翅端は暗褐色。触角先端節は淡褐色。体表面の毛は一般的に黄白色。

前頭は弱く膨らみ，前角には弱い瘤状突起を有する。頭楯と前頭との縫合線は深くくぼみ明瞭。点刻は密で不規則。剛毛はやや太く，強く湾曲したものとやや弱く湾曲したものが混在し，前頭の後方中央に向かう。触角球桿部の先端節は末端が幅広く丸まる長方形で，長さはその直前節の約1.15倍。

前胸背板の長さは幅と同じかごくわずかに短い。基部の幅は翅鞘基部の幅とほぼ同じ。前縁は強いアーチ状。側部は荒い鋸歯状を呈し，前方に向いわずかに幅広となる。前角は強く丸まるが後角は鋭く角ばる。背面は非常に強く膨隆し，後方中央の縦溝は細く浅く前方3分の1に達する。点刻はやや大きく密。剛毛は太く，強く湾曲したものとそれよりもわずかに弱く湾曲したものが混在し，中央付近に向かう。

翅鞘の長さは幅の約2倍。基部は肩部を除いて縁ど

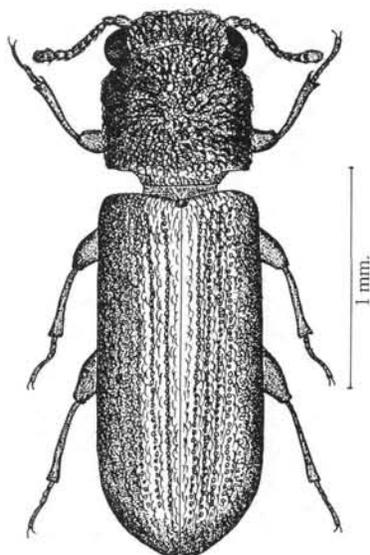


Fig. 3. *Lyctus caribeus* LESNE

られる。側部は基部から後方3分の2付近までわずかに広がり，その後は弱く丸まる。背面の点刻は浅く大きく，ほとんど互いに接するように縦列する。間室の剛毛は後方に向け弱く湾曲し縦列しており，奇数間室には後方に向け強く湾曲したものを混在する。

前腿節は中・後腿節より幅が広い。

体長：2~3.2 mm。

分布：中央アメリカ，カリブ海諸島。

採集記録：Nicaragua (Corinto)→Kobe, Rose wood, VII-7-1982, I. UEDA.

輸入植物検疫では初記録である。

本種は新大陸に分布する *L. villosus* LESNE および *L. simplex* REITTER に似るが，前胸背板基部の幅と翅鞘基部の幅と同じであることにより区別できる。

### 4. *Lyctus sinensis* LESNE ケヤキヒラタキクイムシ (Fig. 4)

体色は一般に黄褐色。頭部，前胸および小楯板は濃黒褐色。翅鞘基部，先端，会合線付近および脚はやや黒褐色。触角球桿部は赤褐色。体表面の毛は黄白色。

前頭は膨隆し，前角に大きい瘤状突起を有する。頭楯と前頭との縫合線は側部まで深くくぼみ明瞭。点刻は密で互いに融合するため不整形となる。剛毛はやや長く密，側部のものは前方に向かうが，他は後方に向け伏す。触角球桿部の先端節は顕著に膨張し中心線に対し不相称な三角形を呈し，長さはその直前節の約2倍。

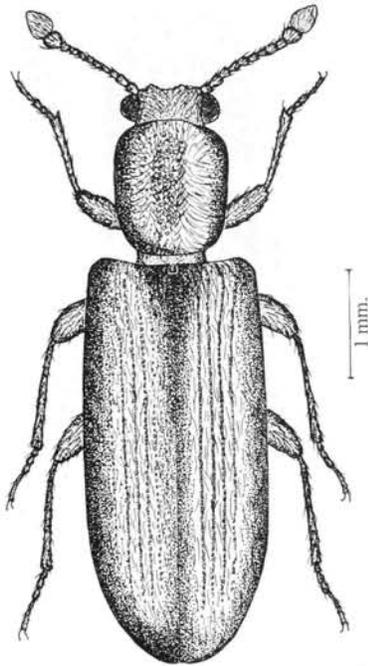


Fig. 4. *Lyctus sinensis* LESNE

前胸背板の幅は翅鞘基部の幅よりはるかに狭く、長さは幅の約1.11倍。側部は細かい鋸歯状を呈し、前方に向けごくわずかに幅広となるか、ほぼ平行。前角および後角ともほとんど同様に弱く丸まる。背面は膨らむ。点刻は非常に密で不整形。剛毛は伏す。

翅鞘の長さは幅の約2.33倍。基部は縁どられない。側部は基部から後方4分の3付近までごくわずかに広がり、その後は丸まる。背面の点刻は縦列し深く細かい。間室には後方に向け不規則に伏した繊毛をそなえる。

前腿節は中・後腿節の幅と同じ。

体長：2.75～5.0 mm。

分布：日本、中国、朝鮮、欧州。

採集記録：P.R. China (Xingang (新港))→ Kobe, ex Bamboo split, V-12-1981, T. UYAMA & M. KANEDA.

輸入植物検疫では、中国産の梱包用割竹、韓国産の薬用植物で数回発見されている。

なお、本種は我が国に分布する *L. linearis* (GOEZE) (ナラヒラタキクイムシ) と似るが、① 翅鞘間室の繊毛が明瞭には縦列しないこと、② 触角球桿部は大きく、先端節が中心線に対し不相称であること、により区別できる。

#### Genus *Minthea* PASCOE ケプトヒラタキクイムシ属

本属は背面に直立した先太の鱗毛をそなえていること、触角球桿部の先端節が長方形を呈し、その直前節は半円形であること、により他の属と区別できる。

#### 5. *Minthea rugicollis* (WALKER) ケプトヒラタキクイムシ (Fig. 5)

体色は一般に赤褐色。頭部、前胸、触角および翅端はやや濃赤褐色。体表面の毛は黄白色。

前頭は弱く膨らみ、前角は弱い瘤状突起を有する。頭楯と前頭との縫合線はやや深くくぼみ明瞭。点刻はかなり密で不規則に配列する。鱗毛は前頭前角、頭楯側部および頭頂側部で密。触角球桿部の先端節は長方形で長さはその直前節の約1.3倍。触角第1節から9節まで鱗毛を、先端直前節は太い剛毛を疎にそなえ、先端節は細く短い剛毛を密にそなえる。

前胸背板の長さは幅とはほぼ同じかわずかに短い。前縁は強いアーチ状。側部は鋸歯状で基部から前方に向けわずかに幅広となる。前角はやや強く丸まり後角は鋭く角ばる。背面の中央には幅広くやや深くくぼみがあり、後方中央には細い縦溝がある。点刻は密で明瞭。直立した鱗毛と伏した繊毛を混在するが、側縁の鱗毛は外方に向かう。

翅鞘の長さは幅の約2.12倍。基部は肩部を除いて縁どられる。側部は基部から後方4分の3付近までほぼ平行、その後強く丸まる。背面点列部の点刻は浅く大

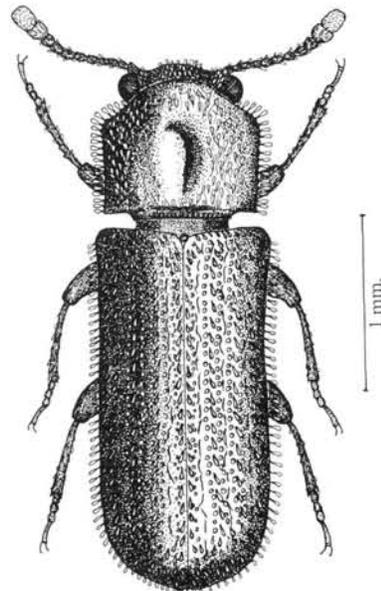


Fig. 5. *Minthea rugicollis* (WALKER)

きく、互いに接するように縦列する。奇数間室には直立鱗毛を、偶数間室には後方に向け伏した繊毛を、それぞれ1列に縦列する。

体長：2.0～3.0 mm。

分布：アジア、アフリカ、オーストラリア、ハワイ、パナマ、ブラジル等の熱帯地域に広く分布する。

輸入植物検疫では、インドから郵便物で輸入された木箱から採取されたのが最初で(山崎：1965)、その後、東南アジア、南米からの竹、木材、薬用植物などからたびたび発見されている。

本種は、① 前胸背板に大きなくぼみを有し、点刻も明瞭であること、② 前胸側縁にはそれぞれ約19本の鱗毛があること、③ 触角先端節の長さは先端直前節の約1.3倍であること、により本属他種と区別できる。

#### Genus *Lyctoxylon* REITTER アラゲヒラタキクイムシ属

本属は触角球桿部の2節がともに細長い長方形を呈すること、体背面はやや短く直立した剛毛を不規則にそなえること、により他の属と区別できる。

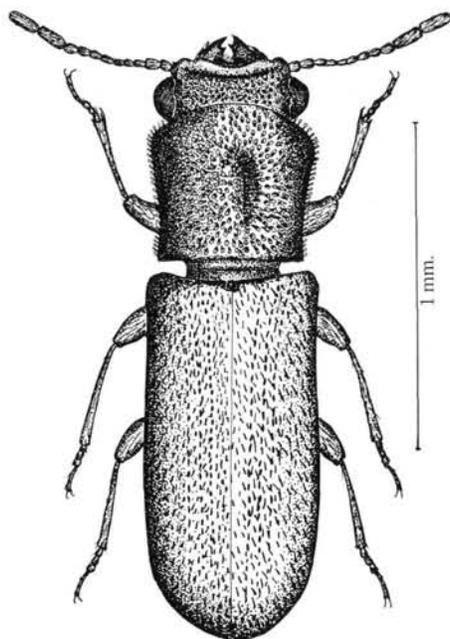


Fig. 6. *Lyctoxylon dentatum* (PASCOE)

#### 6. *Lyctoxylon dentatum* (PASCOE) アラゲヒラタキクイムシ (Fig. 6)

体色は一般に濃赤褐色。前頭、前胸背板はやや黒褐色。体表面の毛は黄白色。

前頭は中央がわずかに膨らむ。前角および頭頂側部は弱い瘤状突起を有する。頭楯と前頭との縫合線は明瞭にくぼむ。点刻は明瞭。剛毛は頭頂中央では太短く、頭楯側部、前頭側部および頭頂側部では長い。触角球桿部は2節とも細長い長方形を呈し、触角全体の長さの5分の2をしめる。

前胸背板の長さは幅とほぼ同じかやや短い。側部は基部から前方に向け徐々に幅広となる。前角は強く丸まるが後角は鋭く角ばる。背面の中央はかなり大きく、かつ、幅広くくぼみ、後方中央には短く細い縦溝をそなえる。点刻はやや密。剛毛は太短かいが側縁ではやや長くなる。

翅鞘の長さは幅の約1.92倍。基部は肩部を除いて縁どられる。側部は基部から後方4分の3付近まで平行、その後は強く丸まる。点列部の点刻は小さく縦長である。剛毛は太短く、直立して不規則に生じる。

体長：1.5～2.0 mm。

分布：日本、中国、ニューギニア、インド、ケニア、アメリカ合衆国等の温帯～熱帯地域に広く分布する。

採集記録：P.R. China (via Hong Kong)→Kobe, ex Bamboo split, VII-10-1981, S. FUKU.

輸入植物検疫では中国、台湾、香港、インドネシア、タイ産の竹や薬用植物などから発見されている。

本種は体長が2.5 mm以下と小型であることにより本属他種と区別できる。

なお、本種は従来 *L. japonum* (REITTER) が使用されていたがシノニムとなっている(岩田：1988)。

Tribe TROGOXYLINI アシプトヒラタキクイムシ族  
体は一般に扁平である。ヒラタキクイムシ族との違いは前述のとおりである。

本族は *Trogoxylon*, *Tristaria*, *Lyctopsis*, *Lyctoderma*, *Cephalotoma*, *Phyllyctus* の6属からなるが、大部分の種は *Trogoxylon* 属に含まれるものである。

#### Genus *Trogoxylon* LeCONTE アシプトヒラタキクイムシ属

本属は前胸腹板突起の先端が基節窩の幅ほど広がっていないことにより他の属から区別出来る。

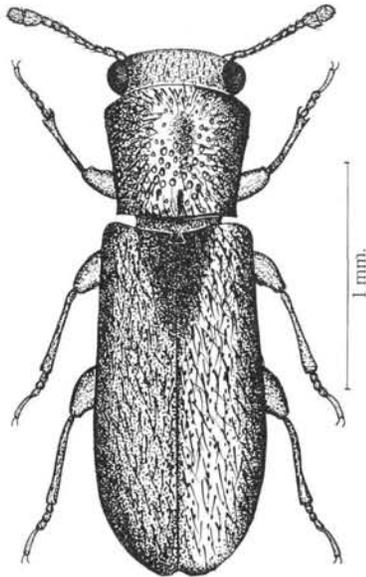


Fig. 7. *Trogoxylon aequale* (WOLLASTON)

7. *Trogoxylon aequale* (WOLLASTON) ミナミアシブトヒラタキクイムシ (Fig. 7)

体色は一般に黄褐色。頭部、前胸、小楯板およびその付近は暗褐色。体表面の毛は黄白色。

前頭および頭楯はほぼ平坦で、いずれも前角は全く瘤状突起とはならない。頭楯と前頭との縫合線は非常に浅いが明瞭である。点刻はやや細長。剛毛は短く前方に向け伏す。触角の先端節は三角形でやや細長い。

前胸背板の長さは幅と同じ。側部は鋸歯状で前方に向かい徐々に幅広となる。前角は強く丸まるが後角では鋭く角ばる。背面の中央はほぼ平坦、後方中央に短く細い縦溝をそなえる。点刻は疎で前胸背前方部では浅くやや不明瞭。剛毛はややまばらで前方中央付近に向かう。

翅鞘の長さは幅の約2.14倍。基部は縁どられない。側部は基部から後方3分の2付近までわずかに広がり、その後は弱く丸まる。背面はやや強く膨らみ、小さい点刻と後方に向け強く伏した剛毛とを不規則にそなえる。

体長：2.2~2.7 mm。

分布：フィリピン、キューバ、ギニア等の熱帯地域。

採集記録：Honduras (Puerto-Cortés)→Kobe, ex Rose wood. VIII-19-1981, I. UEDA.

輸入植物検疫では初記録である。

本種はアメリカ合衆国に分布する *T. caseyi* LESNE

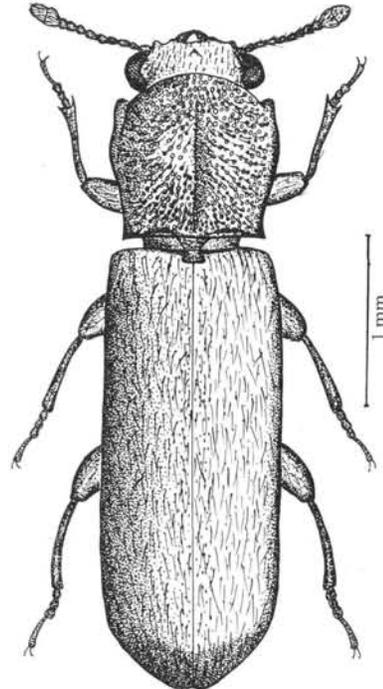


Fig. 8. *Trogoxylon spinifrons* LESNE

に似るが、① 下唇基節の中央にくぼみがないこと、② 後胸腹板の正中線がくぼまないこと、により区別できる。なお、岩田(1988)は本種が我が国へ侵入定着する可能性を示唆している。

8. *Trogoxylon spinifrons* LESNE (Fig. 8)

体色は一般に赤褐色。前胸はやや暗褐色。触角先端節は淡褐色。体表面の毛は黄褐色。

前頭はやや膨らみ、その中央に小さく鋭い突起をそなえる。前角、頭楯側部および頭頂側部には上方に反転した大きい葉状突起を有する。頭楯と前頭との縫合線は浅いが明瞭。点刻は密。剛毛は短く前方に向け伏す。

前胸背板の長さは幅と同じ。側部は基部から中央付近まで急に広がり、その後狭まる。前角は上方に反転突出し、後角は鋭く角ばる。基縁は縁どられほとんど真直。背面は非常に強く膨隆するが中央では弱く縦長にくぼみ、後方中央の縦溝は長く前方3分の1まで達する。点刻は浅いが明瞭。剛毛はごく短く中央前方に向け伏す。

翅鞘の長さは幅の約2.33倍。基部は肩部を除いて縁どられる。側部は基部から後方4分の3付近まではほぼ平行、その後は丸まる。背面は浅い点刻と後方に向け

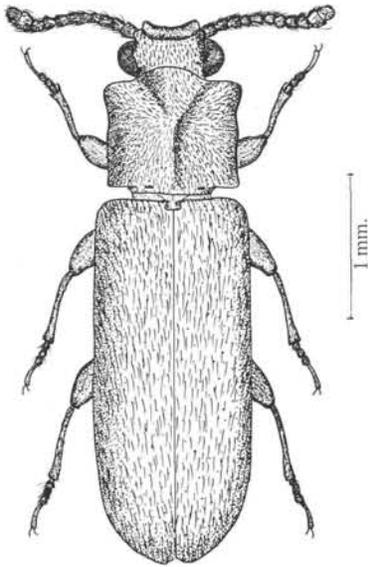


Fig. 9. *Trogoxylon impressum* (COMOLLI)

伏した剛毛とを不規則にそなえる。

体長：3~4.8 mm。

分布：インド。

採集記録：India (Bombay)→Kobe, ex Sissoo log. VII-6-1971, M. MIYAUSHIRO.  
Thailand (via Singapore)→Kobe, ex Makha knob, X-12-1982, K. NISHIOKA.

輸入植物検疫では初記録であるが、インドでは普通種 (MATHUR: 1955) であり、今後も発見される可能性が高い。なお、本種は前頭中央部に鋭く尖った小さな突起があることにより同属他種と区別できる。

### 9. *Trogoxylon impressum* (COMOLLI) (Fig. 9)

体色は一般に赤褐色。頭部、前胸背板中央前方および翅鞘小楯板付近は黒褐色。体表面の毛は黄白色。

前頭はほぼ平坦で、前角、頭楯側部および頭頂側部には鋭く上方に反転した葉状突起をそなえる。頭楯と前頭との縫合線は明瞭。点刻は非常に密で細かい。剛毛は非常に短く目立たない。触角は頑丈で球桿部は *Lyctus* 属のように大きくなり比較的小さい台形状。

前胸背板の長さは幅と同じかやや短かい。側部は前方に向けやや幅広となり強く縁どられる。前角は強く丸まるが後角は鋭く角ばる。背面はごく弱く隆起する。中央ではY字型に弱くくぼむ。点刻は密で浅い。剛毛

は前頭と同様ごく短く中央前方に向け伏す。側部の剛毛はやや太く外方に向かい密生する。

翅鞘の長さは幅の約2.24倍。基部は縁どられない。側部は基部から後方4分の3付近まではほぼ平行でその後は急に丸まる。背面は楕円形の点刻をまばらにそなえ、後方に向け強く伏した剛毛とを不規則にそなえる。雌の腹部第5節中央両側に黄金色の剛毛を渦巻状にそなえる。

体長：2.75~4.50 mm。

分布：地中海地域。

採集記録：P.R. China (Xingang (新港))→Kobe, ex Bamboo, VI-19-1981, M. KANEDA.  
P.R. China (via Hong Kong)→Kobe, ex Bamboo split, XI-26-1981, H. KAWASE.

輸入植物検疫では初記録である。

本種は頭頂側部に明瞭な瘤状突起があることにより同属他種と区別できる。

なお、本種の分布地域は地中海地域とされているが中国にも分布すると推察される。

### 引用文献

- ARNETT, R.H. (1973) The Beetles of the United States. The American Entomological Institute, Ann Arbor, 1112 p.  
中條道夫 (1937) 日本動物分類第10巻第8編第7号 長蠹蟲科, 扁蠹蟲科, 三省堂, 東京, 103 p.  
中條道夫 (1958) あげは, 第6号サプリメント 1: 1-15.  
GERBERG, E.J. (1957) Tech. Bull. U.S. Dept. Agr., 1157: 1-55, pl. 1-14.  
岩田隆太郎 (1982) 家屋害虫, 13/14: 60-63.  
岩田隆太郎 (1988) 家屋害虫, 35/36: 45-54.  
LESNE, P. (1910) Bull. Soc. ent. Fr. 15: 303-305.  
LESNE, P. (1931) Mus. d' Hist. Nat. Bull. ser. 2, 3: 96-98.  
LESNE, P. (1938) Coleopterorum Catalogus. Pars 161, W. Junk, Berlin 84 p.  
MATHUR, R.N. (1955) Ind. Forest Bull. (N.S.), 187: 1-8.  
野淵 輝 (1979) 森林防疫, 28: 214-221.  
酒井雅博 (1985) 原色日本甲虫図鑑 (III), 保育社, 大阪, 134-135.  
山崎 昭 (1965) 神戸植物防疫情報, 412: 1.